

スクールパリ協定2026
気候変動に関する国連会議COP31の注目点<詳細編>

解説③ COP31の注目トピック アクションアジェンダと 非国家アクター

WWFジャパン 気候・エネルギーグループ
田中　健

2026年10月27日

© WWF Japan



今日の内容

1. アクションアジェンダと非国家アクター
2. イベント情報



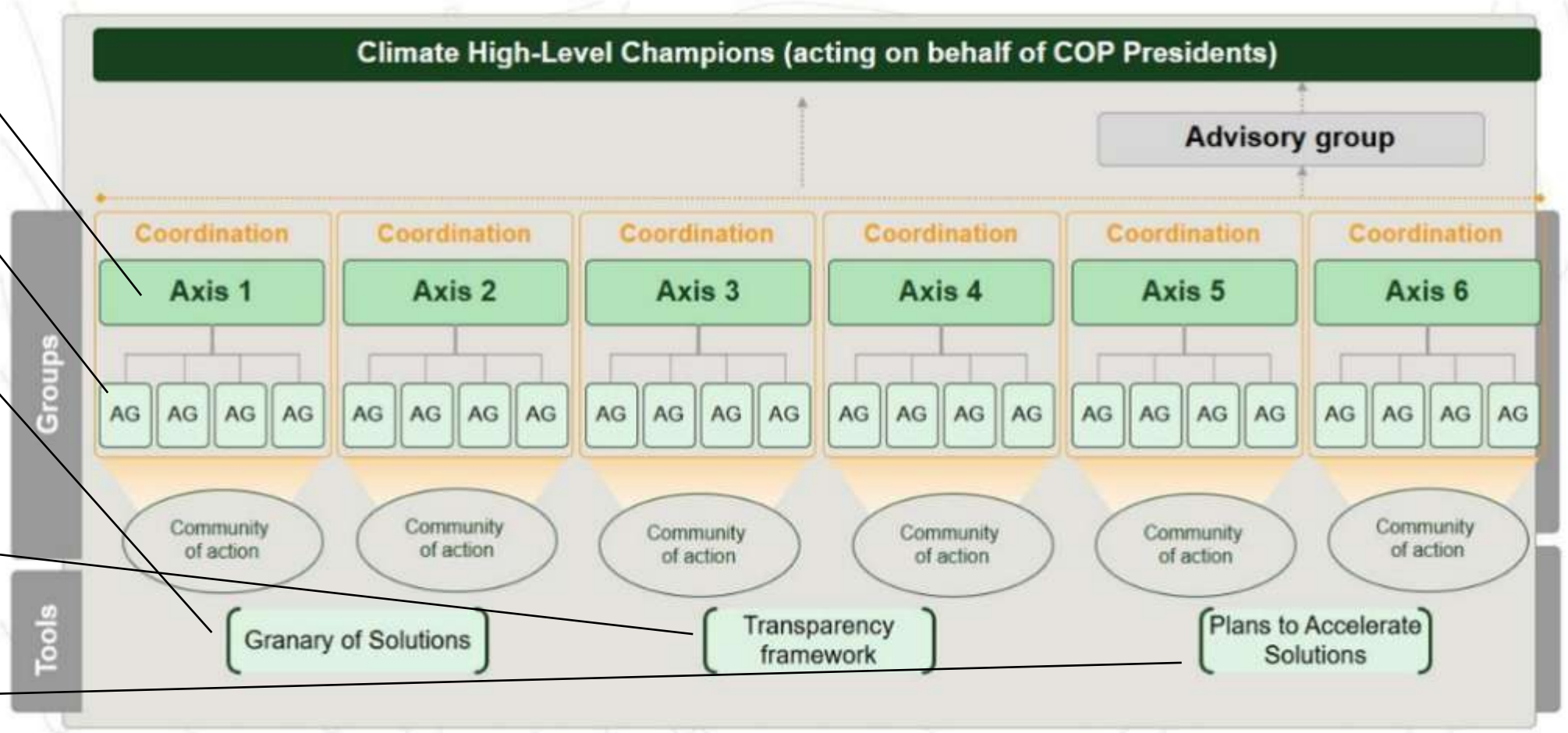
今日の内容

1. アクションアジェンダと非国家アクター
2. イベント情報

アクションアジェンダの構造

ハイレベルチャンピオンが発表した5か年ビジョン(2026-2030)

- GSTの結果から決定
- 非国家アクターイニシアティブが参加
- 解決策を共有するウェブサイト
- 成果進捗を報告する仕組み
- 解決策を拡散・加速する計画



出典：Global Climate Action Agenda 2026–2030

2026の主要目標とCOP31優先事項

青字　10のテーマ別優先事項
白字　10の中の重点分野
緑字　重点分野に合わせて更新

エネルギー・産業・輸送の転換

クリーンエネルギー移行

1. 再生可能エネルギーを3倍にし、エネルギー効率を2倍にする
2. 排出ゼロ・低排出技術の導入をHard-to-Abate分野で加速
3. 全ての人へのエネルギーアクセスを確保

- グリーン産業化

4. 公正かつ公平な方法で化石燃料からの移行を進める

森林・海洋・生物多様性の保全

- リオ・シナジー

5. 森林減少と森林劣化を止め、逆転させるための投資
6. 気候・生物多様性・砂漠化の解決策により自然と生態系を保護・回復する取り組み

- 海洋

7. 沿岸・海洋生態系を保護・回復する取り組み

農業と食料システムの変革

食糧安全保障

8. 景観回復と再生型農業の推進
9. より強靭で適応的、持続可能かつ循環型の食料システム
10. すべての人に対する十分な栄養への公平なアクセスと食料安全保障の確保

都市・インフラ・水のレジリエンス構築

- 気候レジリエントな都市

11. 多層的ガバナンス
12. 持続可能で強靭な建築物と建設
13. 強靭な都市開発、モビリティ、インフラ

ゼロウェイスト

14. 強靭な水資源管理と衛生サービスの確保
15. ゼロウェイスト及びサーキュラーエコノミー

人間および社会開発の促進

- 柔軟かつ強靭な保健システム

16. 強靭な保健システムの推進
17. 飢餓と貧困の撲滅における気候変動の影響を減らす

- 若者と教育

18. 教育、能力強化、雇用創出を気候変動対策と結びつける
19. 文化、文化遺産保護と気候行動

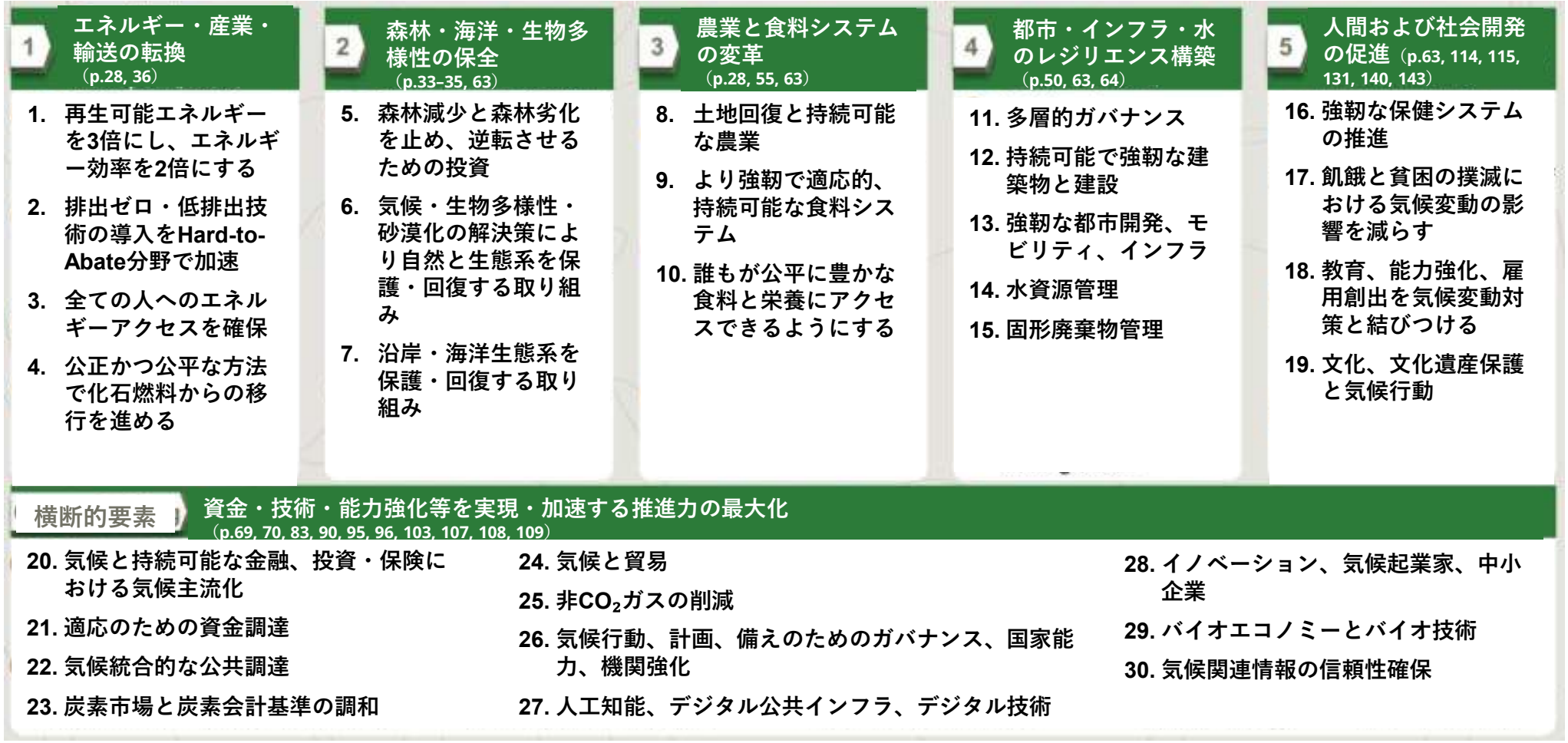
資金・技術・能力強化等を実現・加速する推進力の最大化

気候実施のための橋渡し

20. 気候、持続可能、適応資金、投資・保険における気候主流化
21. ネットゼロに向けた気候行動
22. 気候統合的な公共調達
23. 炭素市場と炭素会計基準の調和
24. 気候と貿易
25. 非CO_2ガスの削減
26. 気候行動、計画、備えのためのガバナンス、国家能力、機関強化
27. 人工知能、デジタル公共インフラ、デジタル技術
28. イノベーション、気候起業家、中小企業
29. バイオエコノミーとバイオ技術
30. 気候関連情報の信頼性確保

出典：2026 Work Programme for the Climate High- Level Champions and the Marrakech Partnership for Global Climate Action

6つのテーマ軸と30の重点目標（COP30時点）



出典：COP30ウェブサイトよりWWFジャパン作成

Plans to Accelerate Solutions (PAS)｜解決策の加速計画

COP31に向けて各アクティベーショングループが実施・策定



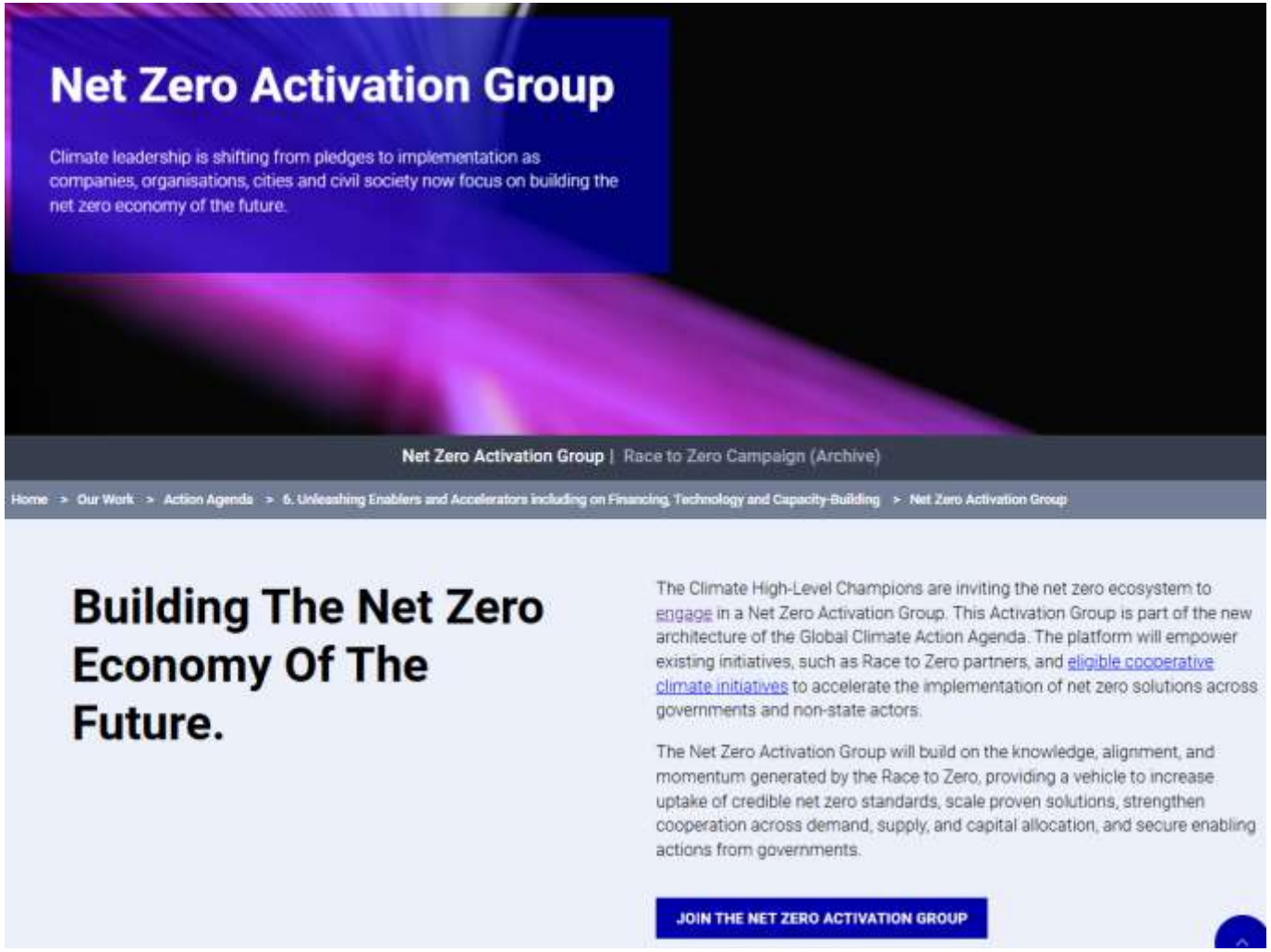
COP31での注目点

- COP30から始まった新たなアクションアジェンダの枠組みが、気候変動対策の「実施」をどれほど加速したか
- PASはどれほど進捗したか
- 10の優先事項の実施は進んだか

各PASの詳細はNAZCAで公開：https://climateaction.unfccc.int/PAS

出典：Climate Championsウェブサイト Action Agenda

Race to Zeroの進化｜Net Zero Activation Group



RACE TO ZERO

ハイレベルチャンピオンの主導により2020年に始まったRace to Zeroは、アクティベーショングループの一つとして進化的に移行

Solution & Delivery AG 21. Net zero climate action
11/14(土)17:3-18:30｜Special Event Room 4

出典：Cliamte High-Level Championsウェブサイト Net Zero Activation Group

他の議長国イニシアティブとの関係

具体的なアクションを加速するため複数の議長国イニシアティブが一体的に動く

重点分野の中で何を
優先するかを特定・整理

Belém Mission to 1.5C

COP29～31議長のイニシアティブ
COP30決定 Global Mutirão パラ42

COP31でどの分野を重点的に
扱うかを議長が示す

**COP31
10 priority areas**

COP31議長国イニシアティブ

**解決策を各国NDC・NAP実施
につなげる**

Climate Implementation Bridge

非国家アクターの解決策
（PAS）を集めて整理

**Global Climate Action
Agenda**

Plans to Accelerate Solutions

COP議長国・ハイレベルチャン
ピオンの共同イニシアティブ

重要な解決策を選んで支援・拡大

**Global Implementation
Accelerator（GIA）**

COP30, 31議長のイニシアティブ
COP30決定 Global Mutirão パラ41

UAE Consensusをはじめとする既存のCOP合意の実装≒ GST1

出典：COP31公式ウェブサイト等からWWFジャパン作成

COP31に向けた主要イニシアティブの整理

仕組み	主導者	役割	成果物
Global Climate Action Agenda（GCAA）	ハイレベルチャンピオンCOP議長国	非国家アクターの取組を集約・促進する枠組み。COP30でブラジルが再編（アクションアジェンダ）	アクションアジェンダ Plans to Accelerate Solutions　など
COP31 10 Priority Themes	COP31トルコ議長国	GCAAの枠組みを基盤に、COP31で優先するテーマとFocus Areasを設定。	10テーマ／Focus Areas
Belém Mission to 1.5	COP29・30・31議長国	NDC・NAP実施の障壁、機会、優先すべき課題を特定、国際協力や投資促進のあり方を分析。	COP31前の報告書
Global Implementation Accelerator（GIA）	COP30・COP31議長国	重要なPASをいくつか選定し、その実施拡大に必要な資金や技術、ステークホルダー連携などを支援	重要なPASの実施加速
Climate Implementation Bridge	COP31議長国	国際イニシアティブや民間主導の取組（PASを含む）を、各国のNDC・NAP実施につなげる。GIAを補完。	NDC・NAP実施につながる資金や能力等の動員・調整

出典：COP31公式ウェブサイト等からWWFジャパン作成

COP31議長国によるAIイニシアティブ

仕組み	主導者	役割	成果物
Antalya AI Pledge	COP31議長国 International Telecommunication Union（ITU）	• AIの緩和策・適応策への活用と電力需要や資源消費の増大への対応のための政治的誓約 • AIの設計、調達、運用、展開、評価、管理を、気候変動対策とSDGsに整合させる原則を示す	COP31前に草案を公表し、各国の賛同を募集
AI for Clean Tech Initiative	COP31議長国	• AIを活用した具体的な実証事業や投資案件を創出する企業や投資家との連携イニシアティブ • スマートエネルギー、グリーン産業などの優先分野でAI活用クリーン技術・責任あるAIの実証に取り組む	AIを活用した実証プロジェクトの発表／企業・投資家とのパートナーシップ形成

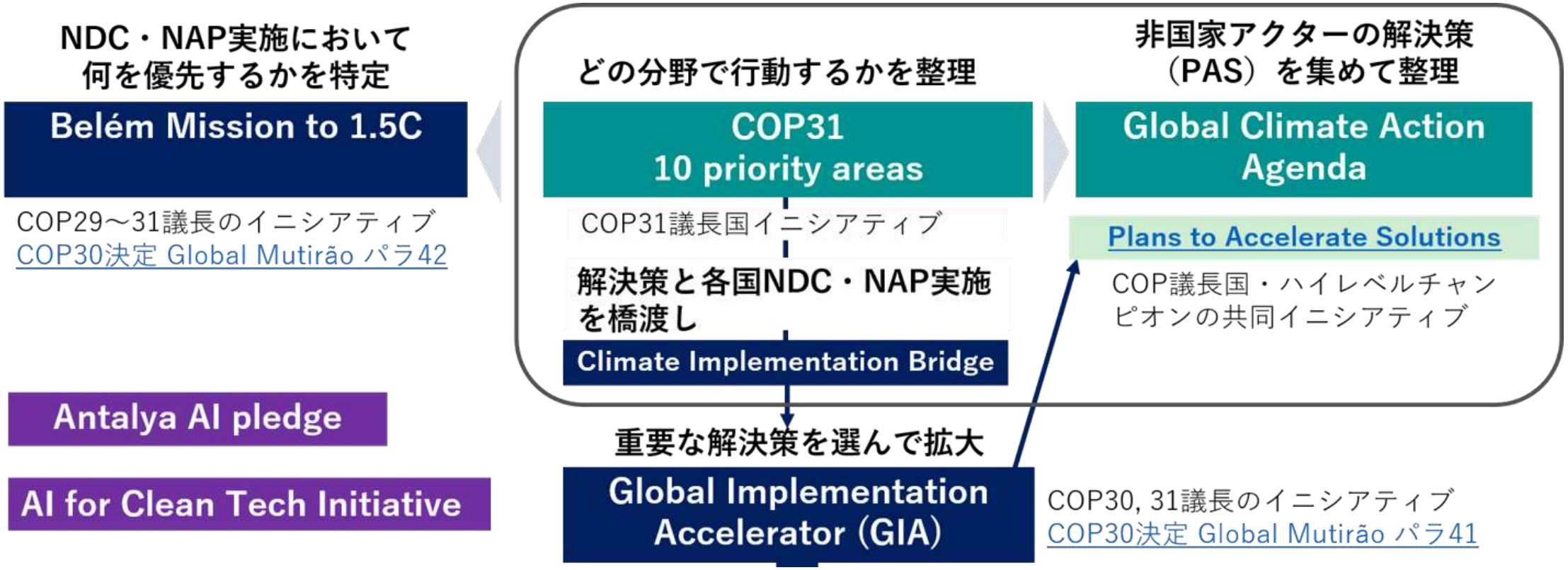
Special Event：AI for Climate Action: From Innovation to Implementation
11/16(月) 13:20-14:20 | Special Event Room 5

35by35で電化の方向性を示しつつ、AI時代にどうその転換を進めていくべきかのルールと実証の仕組みを作ろうとしている→NDC/NAPに将来的に反映？

出典：COP31公式ウェブサイト等からWWFジャパン作成

非国家アクターの取り組みは実施を加速できるか

- 複雑に絡み合う各種イニシアティブの成果に、締約国以外の組織・団体・イニシアティブ等の貢献がどのように現れるかに注目



出典：COP31公式ウェブサイト等からWWFジャパン作成



今日の内容

1. アクションアジェンダと非国家アクター
2. イベント情報

COP31 テーマ別日程

出典：COP31ウェブサイト ／ COP31公式イベントスケジュール

月日	テーマ	キーワード
11/9(月)	食料・農業・健康	農業・食料安全保障 / 灌漑・水利用効率 / フードシステム / 気候変動と健康
11/10(火)	エネルギー・運輸	エネルギー安全保障 / 電化 / 電力系統（グリッド）インフラ / エネルギー源の多様化とエネルギー効率 / 持続可能な輸送・交通
11/11(水)	ゼロウェイスト リーダーズ・サミット①	ゼロウェイスト / 資源効率 / メタン / 循環経済
11/12(木)	レジリエント都市・建築環境 リーダーズ・サミット②	気候配慮型建築 / レジリエントな居住地・都市 / 防災・災害リスク管理 / 地方自治体 / スマートシティ / 自然を活用した解決策 / スマートモビリティ / 建築環境・インフラ / 持続可能な廃棄物システム
11/13(金)	金融・貿易	グリーン・トランスフォーメーション / 気候関連投資 / グリーンファイナンス / バリューチェーン / カーボンマーケット
11/14(土)	子ども・若者・教育・スキル	気候リテラシー・気候教育 / グリーンスキル・人材育成 / 学術界（アカデミア） / カリキュラム開発 / 生涯学習
11/15(日)	休会	社会・文化プログラム
11/16(月)	科学・産業・技術	科学 / グリーン産業化 / 技術・イノベーション / 中小企業 / デジタル化 / AI / 低炭素型ものづくり
11/17(火)	海洋・海・自然・土地利用（リオ条約シナジー）	海洋・海洋生態系 / 内陸水域生態系 / 沿岸域のレジリエンス / ブルーエコノミー / 生物多様性と生態系サービス / 森林・生態系の回復
11/18(水)	人間・社会開発	観光 / 文化遺産 / 雇用と生計 / 伝統知・地域知 / 脆弱な立場にある人々 / 障害者 / 女性のエンパワーメント / 公正な移行
11/19(木)	イメジェ：実施強化	制度・技術能力強化 / 投資適格プロジェクトの形成 / 資金アクセスの拡大
11/20(金)	最終交渉	

COP31 Global Climate Action

メインイベント:

- **Opening Global Climate Action Event**：11/10(火) 17:00-19:00 | Special Event Room 4 Perge
- **Mandated High-Level Event of Global Climate Action**：11/19(木) 14:00-16:00 | Plenary Hall 2

主なイベントの構成:

- **Solution & Delivery AG X**：アクティベーショングループごとの解決策とその実行について共有・議論
- **COP 31 Priority Spotlight**：10のテーマ別優先事項のひとつに焦点を当てたイベント
- **Axis X Synthesis Roundtable**：各Axisに関わるイニシアティブの共同ラウンドテーブル
- **Axis X Showcase**：各Axisの活動紹介

各アクティベーショングループ:

- COP30時点のアクティベーショングループ一覧
- High-Level ChampionsウェブサイトにてAG21 “Net Zero Activation Group” に参加しているイニシアティブの一覧を公開予定（Race to Zeroがアクティベーショングループに進展・移行）

出典：UNFCCCウェブサイト　Global Climate Actionイベントスケジュール

企業関連のサミット・パビリオン

COP31 Business & Investment Summit ：11/12(木) – 11/13(金) Blue Zone

- Day 1: 300 participants, Csuite, including public-private dialogues
- Day 2: 600+ participants with plenary space.

※10/26時点で詳細プログラムは公開情報で見つけられていません

Business Pavilion hosted by We Mean Business Coalition

America Is All In Pavilion

WWF Pavilion

Standards Pavilion

WBCSD at COP31 Program.pdf

出典：各種ウェブサイト等

together possible™



WWF® and ©1986 Panda Symbol are owned by WWF. All rights reserved.
WWF, 28 rue Mauverney, 1196 Gland, Switzerland. Tel. +41 22 364 9111
CH-550.0.128.920-7